

令和2年度 第1回伊豆市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和2年7月28日（火） 14時00分～15時45分

場 所：修善寺生きいきプラザ第1・第2会議室

委 員：17名（うち代理3名）、欠席3名

機関・団体・役職名等	氏名	役職
伊豆市長	菊地 豊	会長
総合政策部長	堀江 啓一	副会長
国土交通省中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官	風岡 昌吾	委員
静岡県交通基盤部都市局地域交通課長	(代) 山崎 友寛	委員
一般社団法人静岡県バス協会 専務理事	(代) 鈴木 誠	委員
静岡県タクシー協会 賀茂・修善寺副支部長	寺山 冗二	委員
伊豆箱根バス株式会社 営業部乗合課長	岩崎 勝一	委員
株式会社東海バス 取締役修善寺営業所長	青木 守	委員
大仁警察署 交通課長	稲葉 一臣	委員
伊豆箱根鉄道株式会社 執行役員鉄道部長	(代) 藤田 浩行	委員
株式会社伊豆中央自動車 代表取締役	佐藤 諭	委員
建設部長	山田 博治	委員
伊豆市区長会副会長	浅田 元治	委員
伊豆市老人クラブ連合会長	仲原 一芳	委員
健康福祉部長	右原 千賀子	委員
産業部長	滝川 正樹	委員
教育部長	佐藤 達義	委員
副市長	佐藤 信太郎	
建設部都市計画課長	井上 貴宏	
東海自動車株式会社 バス営業部 部付課長	和泉澤 貴治	
総合戦略課長	山口 吉久	事務局
総合戦略課 主査	高田 泰宏	事務局
総合戦略課 主任	秋津 芳行	事務局

資料：①次第、②席次表、③委員名簿、④資料1：伊豆市地域公共交通会議の役割について
 ⑤補足資料1：活発で良い議論ができる会議のために ⑥資料2：伊豆市における公共交通の現状
 ⑦資料3：運行に係わる協議事項 ⑧資料4：伊豆市生活交通ネットワーク形成計画 推進事業について
 ⑨補足資料2：伊豆市生活交通ネットワーク形成計画 概要版 ⑩資料5：中伊豆地区における地域内交通導入に関する実証運行結果報告及び今後の進め方について
 ⑪資料6：公共交通事業者への支援について ⑫参考：伊豆市公共交通総合時刻表

1. 開 会

2. 会長挨拶（市長）

皆さん、こんにちは。つい先ほど県のコロナ対策本部会議があり、コロナ対応のフェーズが一段階あげられるという話がありました。フェーズ4というのは文字面を読みますと県境をまたぐ移動は全面自粛のように見えるんですが、状況に濃淡がございますので、詳細な方針を見ますと、引き続き観光を進めるということですので、東京を中心に首都圏の皆さんとの行き来は注意しながら、おいでいただいたお客様に対しては観光事業の方でしっかりケアをし、かつ市民は市民として県外及び市外への行動においては慎重にやるべきことをなすということのようです。

ただ難しいのが、通常ですと伊豆半島の観光のお客様は7割8割東京の方なんですけど、団体客はいないということですけども、旅館さんに伺うとやはり個人客でも半分ぐらいは東京からの方ということで、もちろんお断りするわけにはいきませんが、今のところ例を聞いていませんけれども、悩ましいのは玄関先で検温して発熱があった場合に、今のルーティンでいけば県の帰国者相談センターへ行ってもらおうのですが、自家用車で来られた方はいいんですけど、熱が38度ありました、検査に行きます、バスと電車で行ってくださいというのもなんだか変な感じですし、タクシーをお呼びしましょうかといってもタクシーの運転手さんも困るでしょうし、リアルに考えたときに本当に対応が難しいですね。結局人の世界でどこまでできるかということになるんですが、われわれは市民として頑張っただけでいるのと同じように、観光においでになる方はやはり前日当日の朝ちゃんと体調管理していただいて、しっかりした自己責任のもとに気を付けておいでくださいということに尽きるんだろうと思います。

この状況は1か月2か月で収まりそうもありませんので1年2年もしくは数年こういった状況の中でも生活を維持し収益を上げ、経済を回していく大変難しい時代になったなということを感じております。これは単なる冒頭での時節のあいさつに尽きるのですが、引き続き公共交通に関する会議を皆様にお諮りさせていただきたく存じます。

その中でも人口減少の中で我々が使わなければやはり公共交通であれお店であれ病院であれ維持できないわけですから市民の皆様の意向と実行動を注視しながら、状況によっては行政の方から啓発させていただきながら、一度失ったらなかなか取り戻すことのできない公共交通についてはしっかり機能として維持をさせていただければと思います。よろしく申し上げます。

3. 委嘱状交付（省略）

<会議の成立報告・議事録の公開>

4. 議事

議事内容

（1）地域公共交通会議の役割・市の公共交通の現状について（資料1、資料2）

資料1・資料2について事務局より説明。

【質疑応答】

委員：公共交通会議の進行について説明があったが、現状この中身が公共交通会議の趣旨に沿っているのかどうなのか。地域住民の声をもっと吸い上げる必要があると思うが、今日も1名欠席ということで、これで意見が取れるのかという心配があるがそのあたりはいかがか。

事務局：市民の方の参加が少ないという指摘があったが、以前委員さんからもご指摘のあった公募等を用いて市民の方にもう少し入っていただいて意見を聞くということも今後公共交通会議の中で検討したいと考えている。

委員：公共交通というが、自主運行バスがほとんどとなっており、伊豆市が運行しているバスですので、伊豆市民の用途に沿うような内容になっていないとおかしい。そのためには、以前からお伝えしている通り、地域住民との意見交換をやらなければこの会議を何回やっても先が見えない。これでは改善などできないと思うが。

会長：この会議は法定会議の性格があるため、それぞれの代表の方に集まっていたく必要があるが、実際に議案にする場合には関係するところには事前に説明をして意見があれば聴取をするという手続きは取っている。厳しい状況のところというのは大体わかっているので、地域の皆さんとは事前に話をして状況を踏まえたいうで当事者が知らないうちに議案になることがないように配慮しているつもり。

委員：直接地域の高齢者の方たちからいろんな意見が自分のところに聞こえてくる。そういった意見を汲み上げる必要があるのでは。今デマンドなどをやっているが、今までバスでやってダメだったものをタクシーでやってもダメに決まっているもっとやり方を変える必要があるのでは。新しい何かを求めて実行していかなければ変わるはずがないと思うが。

会長：一番本質的な話になるが、公共交通は使っていただけない限り残せない。自分でも回数券を買っているがいろんな場でみんなで乗りましようと言っているのだが、やはり地元の方に使っていただけない限り残せないということに尽きてしまう。いつも岡村先生が仰っているとおり自分で運転できなくなったらでは遅いということもいろんな場で伝えているが、そこが共有できないと我々の限界ということになってしまう。ただ、その課題は一番本質的なところなので様々な場で継続的に話をしていきたいと考えている。

(2) 運行に係わる協議事項について（資料3）

資料3について事務局より説明

【質疑応答】

委員：自主運行の方向に必ず持っていかなければならないのか。年間契約の輸送契約でやった場合に、経費としては若干高くなるがそういった運送方法もある。これであればお客さんからお金をもらわなくてもできる。なぜ一直線に自主運行となったのかというところが見えない。もっといろんなことを考えて市として財政の負担を少なくすることも考える必要があるのではないか。

事務局：輸送契約では、金額的には自主運行の方が高くなるというケースもあるが、他の路線との兼ね合いもあるため、ここだけ料金を取らないということは難しいので、現状では自主運行で現在運行中の事業者での運行で考えている。本数については現在朝の一番については学生の足ということで自主運行にて運行しているが、それ以外 5 便あったうちの減便中の 3 便の計 4 便という形になる。以前までサイクルスポーツセンターまでの通行があった場合には 5 便として運行していたが、サイクルのお客さんがいない状況では市民の足としては 3 便で賄えると判断した上で、地域の方にもご説明をし、ご理解をさせていただいた上でこの便数としている。

委員：この路線はサイクルスポーツセンターのお客さんのためでなく、地元地区のお客さんのための生活の足としての自主運行バスだと思う。29 年度と令和元年度を比較すると乗車人員が 2052 人と 7365 人で、経常欠損額が 9,895,912 円と 8,232,257 円となっている。

東海自動車：29 年度の乗車人員については細かい資料を持ち合わせていないのでひよつとしたら間違っているかもしれない。ただ、収益と経常費用を見ていただくと、経常費用は 29 年度と 30 年度で走行距離は変わらないのでほぼ変わらない。経常収益について、29 年度は 2052 人で 40 万円、30 年度については 97 万円ということで収益に差があるが、それ以上に費用がかかっている。令和元年度では減便や、途中で台風による災害で大野橋までで折り返したというところで走行距離が減ってるので経常費用が下がってるということで経常欠損額が下がっているという状況。

先ほど 3 便の話が出たが、朝の一番と残りの 2 便については小学生の足の確保ということで用意している。もう一番については地元のお客様の利用ということで 3 便の確保という形で、こちらが最低限ということではと考えている。

委員：1 キロ当たりの必要経費はどれぐらいか

東海自動車：大体 310 円程度となっている。

委員：計算上はキロ数にその数字をかけたところで算出されるのか。この件についてはもっとやれる方法があったのではないかと感じた。現状を維持するために同じ方法で進んでいくということがいいのか。

生活交通確保対策協議会にて公表したが代替の申出なしということだが、他の会社の方が知っていたかどうか。伊豆市として広報に出したとかそういうことをしたのか。

事務局：市の HP 等に掲載してはいない。県の HP に掲載していたということで、見ていただいたものと認識をしている。

委員：市では出していないが県で出したからいいということか。

事務局：そのような形で対応させていただいた。

委員：それでいいのか。

事務局：今後退出等あった場合には市の HP でも掲載ができるような形で今後検討していきたい。

会長：今の指摘だが、公共交通の事業者には周知している訳だが、他の方に何か選択肢があるか尋ねるとい方が適切かということによいか。本件についてはこのような手続きだったが、今のご指摘を踏まえ、路線の廃止または変更する場合には HP 等で告知するとともに他の選択肢について確認をすることとさせていただく。

収益構造の中で伊豆市がどこまでお金を出せるかというのはあるが、路線バスを廃止する、減便するとなるとなかなか難しい。地元区との折り合いというのについて考えると、一つずつ減らしていくのが精いっぱいかなと感じている。明確な根拠はないが、一気に半減するとか 5 本を 2 本にするというのはなかなか厳しいのかなというのは正直言って肌触りとして感じた。

委員：退出の関係だが、県では手続きとしては退出路線については HP で公告をしている。過去 2 年ほど前に退出路線についてはタクシー事業者などが手を挙げたという例もある。

この路線については 10 月 1 日から自主運行バスとなるので、通常市の方で事業者を選定するようになると思うが、今後の手続きについて伺いたい。

事務局：現状東海バスさんが運行しているので、継続して東海バスさんをお願いしたいと考えているので手続きについてはそちらをお願いする形となる。

委員：ではそのまま東海自動車さんが運行するということで確認した。

【協議結果】原案どおり承認

(3) 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画推進事業について

①令和元年度事業評価・令和2年度事業計画について（資料4）

資料4について事務局より説明。

【質疑応答】

会長：事務局から説明があったが、地域の方から要望があり導入してみた西海岸から順天堂行きというのは要望があったにも関わらずなかなか利用がなかった。また、新しい中学校が日向で想定されているが今までの路線バスは修善寺駅への一極集中だった。今度都市計画の見直しと新中学校の整備で修善寺駅から北に 1 km の牧之郷駅と南に 1 km の新中学校という拠点を多少クロスする必要が出てくるのではないかと思っている。ただでさえ混雑している修善寺駅周辺、どのように走らせて牧之郷駅まで行くのかどのように走らせて中学校まで行くのか、新しい課題が出ている。道路整備と交通統制と路線という複雑な関係の中で、中学生が乗り降りするとバス停も中学校から引き込むのか県道、国道から引き込みバス停を作るのかということも出てくるので、かなり時間も一定の予算もかかるような事業となるが、伊豆市の公共交通の大きな変革となるのでじっくりと検討したいと思う。また、いきいきパスの利用が増えているということで高齢の方には一定の効果があるということなので、バス会社さんが合併していただいたので改めてバス会社の垣根がなくなったので、

いきいきパスの拡大の可能性についても検討したいと思っている。

委員：令和2年度の事業計画の事業3だが、月ヶ瀬インターの交通結節点というのはこの会議ではバス停のことを指すのだと思うが、進捗というか具体的な話を伺いたい。ここに一つバス停を設けることで乗り継ぎができるなどが考えられるが、目的も含めてメリットやデメリットについて伺いたい。

事務局：月ヶ瀬インターの部分については土肥・松崎に行く経路と河津に行く路線、修善寺からの路線に加え、三島に行く路線もあるので、乗り換えが可能などところであるので現在バス停はないが、そこにバス停を設けることで色々な選択肢が増えるのではないかと考えているが現状そこまで事業者と話ができているという状況ではないので今後も継続して行えればということ考えている。

会長：今の件はいい例があったらまた教えていただきたい。修善寺駅から出口と八幡のピストンは需要がある。そこから先が利用者が減っている。せめて需要のある所はしっかりピストンして、せめて1回だけ乗り換えていただくと助かるなどというのがある。しかしバスの皆さんに何うと何も無いところでは乗り換ええない。道の駅なり八幡なり何か施設が整備されたら、1回乗り換えていただくと助かる。またいい例や知恵があればご教示いただくと助かる。

委員：先ほどいきいきパスの関係の話があったが、当社でも市内の運行路線があり、乗降調査をしている中でもパスの利用者がいらっしゃるので、また当社でも検討させていただきたいと思う。

②【協議】中伊豆地区における地域内交通導入に関する実証運行結果報告及び今後の進め方について（資料5）

資料5について事務局より説明。アドバイザーからも全国水準よりも目標値の利用率設定が低いこと、その低い目標値を達成できていないことを見ると、このままでの本格運行は難しいとの意見があったことを説明。

【質疑応答】

委員：やり方が地域住民の要望している内容に沿っていたかは確認したのか。

事務局：会議を行い、運行方法を説明したうえで皆様から意見を伺った。それをすべてクリアしているということではないが、ある程度クリアした上で実証実験を行った。ご意見の中に予約が面倒という話もあったが、そもそも予約型乗合タクシーということで、予約をしないという選択肢はなかった。

委員：どこの地区だったかは忘れたが、当日予約に対応しているというところがある。もう少し掘り下げて聞けばもっと使いやすいやり方があるのではないかと。行政側が考えたやり方で地域住民にやっただけであって地域住民が本当に利用したい交通機関という考えが見えない。そのあたりをもう少し考える必要があるのでは。

会長：担当から説明した通り、このやり方では本格運行する状況に至らなかった。

自分もいろいろな方から伺ったが、やはり予約がめんどくさい、買って帰ったときにバス停から荷物を持っていけないという話があったが、そうすると福祉タクシーを無制限に出さなければならないという話になってしまって、行政としては馴染まない。どこを着地点に向かわせるかというのは別の事業で考えなければならない。ご指摘の内容は重々承知しているがどのような手法でということになる。行政がどこまでやるか、地域の皆様にどういふことをやっていただくかという議論に入っていかなければならないと思う。買い物や通院の足が必要なことは重々承知しているがいかに確保するかというところでいくつかの課題があるということだと思う。

委員：地域づくり協議会にお願いして、車両の管理を委託してボランティアで動かしてもらおうということを考えてらどうか。裾野で裾野駅までの交通を自分たちで動かそうとやってやっている地区もあると聞いている。

会長：先日発足した中大見地域づくり協議会にて地域内交通を検討いただくということで、どういう形になるかはわからないが、もしうまくいけば成功モデルになるということで期待はしている。それと行政としてやるべきところをどこに求めるかということについて引き続き検討したい。ただ、今回のやり方については然るべき実績が得られなかったということだと思う。

委員：今出ている話だと、ボランティア輸送や自家用車運送、市が中心になるとかNPO 法人がやるのかということも選択肢となると思う。ボランティア輸送については許可、登録を要しない、基本運賃が取れない運送方法ということで守ってもらう必要のある事項があるので、ボランティア輸送となる場合には話がある程度まとまる前にご相談いただきたいと思う。いろいろな選択肢があると思うが、検討していただいた上地域に合うやり方で決めていただければよいと思う。

委員：稼働率が低く、実施困難ということであったが、今後このまま終わってしまうということがないようお願いしたい。伊豆の国市では 44.5%の稼働率があると聞いた。駅や買い物ができるところまで行けるということのようなので、協力ができる場所があればお願いしたい。

会長：地域特性があるのではと考えている。あえてバス停ではなく集会場にあつまってもらおうとか、また視野を広げて検討していきたい。

【協議結果】原案どおり承認

5. その他

- ・公共交通事業者への支援について資料6を事務局より説明。
- ・静岡運輸支局より地域公共交通の活性化再生法の改正について説明あり。
- ・東海バスより、前回公共交通会議にて要望のあったふらっと月ヶ瀬へのバス停の配置及び月ヶ瀬温泉バス停の移動について対応結果について報告あり。ふらっと月ヶ瀬へのバス停の配置は様々な事情により困難、月ヶ瀬温泉バス停については地域の方と話をし移動が完了。
- ・バス協会より支援に関するお礼及び今後も継続した支援の要請があった。また、観光バスで5分、乗り合いバスで3分程度で車内の換気ができるということで安全だということ

とを PR したいと発言があった。

・市長より、公共交通を使ってもらえることが願いであり、使ってもらえるようにするためには税金を費やすこともやぶさかではないと考えていると発言があった。

6. 閉会（15時45分）